

物語文を読んでえらぼう

小4／物語を読んで、登場人物の気持ちや、その理由を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 夏のプールを よんで、スタート台へもどっていったときのれんの気持ちを1つえらびましょう。

夏のプールで、れんは はじめて 二十五メートルの はしまで たどりついた。先生が「よく がんばったね」と 頭を なでて くれた。けれど れんは くちびるを かんで、へんじも せずに スタート台へ もどって いった。とちゅうで 一回、足をついて しまったのだ。

1 ほめられても、まだなっとくできず、もっと速く泳げるようになりたい気持ち。

2 ほめられて自信がつき、もっと速く泳げるようになりたい気持ち。

3 ほめられても、まだなっとくできず、一度も足をつかずに泳ぎたい気持ち。

4 ほめられて自信がつき、一度も足をつかずに泳ぎたい気持ち。

2 夕方の公園を よんで、こうたがブランコをとびおりたのはなぜですか。1つえらびましょう。

夕方の 公園で、こうたは ブランコを むちゅうで こいで いた。すな場では、友だちが 山を 作っている。こうたは 急に ブランコを とめて、とびおりた。ズボンの ポケットに 手を入 入れ、家の かぎを にぎると、「あった」と 大きく 息を はいた。それから、また ブランコに こしを おろした。

1 すな場の友だちと、いっしょに遊びたくなったから。

2 家のかぎを、落としていないか気になったから。

3 長くこいでいるうちに、少し気分が悪くなったから。

4 夕方になって、家に帰る時間だと気づいたから。

3 にわの花を よんで、花がさいたときのまいの気持ちを1つえらびましょう。

毎朝 水を やって 育ててきた 花が、ついに さいた。まいは その 花を 見て、はねるように 家の中へ かけこみ、家族に 大きな 声で 知らせた。

1 毎朝世話をした花がさいて、自分をほめてあげたい気持ち。

2 毎朝世話をした花がさいて、じっと見とれていたい気持ち。

3 毎朝世話をした花がさいて、もっと花をふやしたい気持ち。

4 毎朝世話をした花がさいて、早く家族に知らせたい気持ち。

物語文を読んでえらぼう【こたえ】

小4／物語を読んで、登場人物の気持ちや、その理由を1つえらびましょう

なまえ

ひづけ

答えと、たしかめるところ

1 答え：3

ほめられても『くちびるをかんで、へんじもせずに』もどりました（なっとくしていない）。わけは『とちゅうで一回、足をついてしまった』こと。速さのことは書かれていません。

2 答え：2

とびおりてすぐ『家のかぎをにぎると「あった」と大きく息をはいた』。そのあと、また ブランコにすわったので、すな場へ行く・家に帰る・気分が悪い、ではありません。

3 答え：4

『はねるように』家につけこみ、『家族に大きな声で知らせた』。早く伝えたい気持ちです。

読み取るコツ

気持ちは、人物の行動や様子（顔・声・体のようす）に表れます。理由は「～から」「～ので」に注目します。